

札幌発！ピザから始まる採用実験

若者のモヤモヤを事業化する新企画

『BREAKING WONDER』

採択案には2,000万円規模の投資も！

25歳以下の本音を地域課題解決へ

始動！！

採用難が続き、企業が若者とどう出会い、価値観を共有するかが問われています。

福祉・介護事業を基盤に社会課題の解決に取り組むワンダーストレージホールディングス株式会社（本社：北海道札幌市豊平区、代表取締役兼グループCEO：佐藤 肇祐、以下 WSH）は、25歳以下の若者が抱える「イライラ」「モヤモヤ」「おかしい」という感覚を、ビジネスアイデアへと育てる新企画『BREAKING WONDER（ブレイキングワンダー）』を始動しました。

本企画は、ピザを食べながら若者の不満を聞き出すところから始まります。不満の背景にある感情や価値観を掘り下げ、地域や社会の課題を解決するアイデアへと磨き上げます。採択案には、賞金ではなく実装に必要な予算と社員リソースを投じ、WSH社員が参加者とともに事業化を目指します。

厚生労働省が公表した令和4年3月卒業者の就職後3年以内離職率は、新規大学卒就職者で33.8%。また、エン・ジャパンの調査では、退職経験者の54%が「会社に伝えなかった本当の退職理由がある」と回答し、その最多理由は「話しても理解してもらえないと思ったから」が46%でした。若手人材との接点づくりには、求人票だけでなく、本音や違和感を受け止める場も求められています。

『BREAKING WONDER』は、企業が一方的に求人を出すのではなく、若者の本音から新しい仕事と事業をつくる、採用難時代の新たな取り組みです。不満とその背景を探ったRound1・Round2を終え、今後はRound3以降で、若者の違和感を事業案へ変えていく過程を報道関係者向けに公開します。

発表で終わらせない 若者の“不満”を事業案に変える現場をRound3以降で公開

Round1では、代表・佐藤が「必要な事業には2,000万円規模の投資も視野に入れる」と語り、若者の挑戦を後押しする姿勢を示しました。

Round1・2では参加者が自身の違和感や不満を言語化・深掘りし、Round3以降はそれらをビジネスプランへ発展させる過程を取材いただけます。

本当に必要なら
2000万出す！



“不満”は新事業の種 WSHが若者の違和感を社会課題に変える理由

『BREAKING WONDER』は、25歳以下の若者が日常で感じる「なんかおかしい」「もっとこうだったらいいのに」「このままでいいのか」という違和感を、社会や地域の課題として解決するビジネスアイデアへと育てるオーディション型プログラムです。

採用難や若手人材との接点づくりが課題となるなか、WSHは、若者を会社に合わせるのではなく、若者の違和感から仕事をつくるというアプローチを選びました。背景には、代表・佐藤自身が歩んできた「怒りや違和感を事業に変える」という原体験があります。若者たちが日々抱えている「ムカつき」や「モヤモヤ」の中にも、まだ十分に言語化されていない社会課題があると考えています。



実際に発表されたモヤモヤの数々

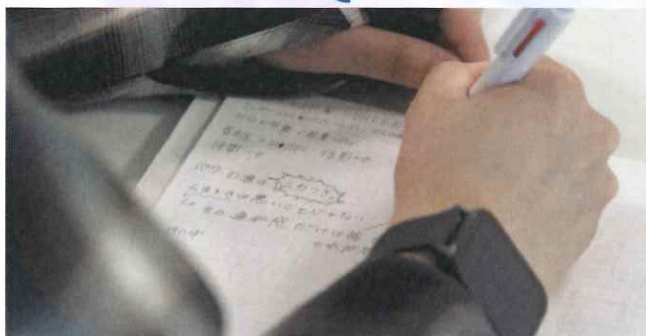
挑戦しない
若者

冷笑文化

明日には熱が
冷めそうな自分

参加者に求めるのは、最初から完成された事業計画や、起業経験ではありません。必要なのは、日常の中で感じる違和感です。社会課題解決やビジネスプラン作成という言葉や、特別な人だけのものにしないために、入口はあえて軽く設計されています。

WSHは本企画を通じて、社会課題解決のマインドを次世代につなげていきます。



採択アイデアは予算化し、WSH社員と実行へ “採用の前に、仕事をつくる”新しいかたち

今後は若者の不満をビジネスプランへと具体化していきます。ROUND3では、メンターとともにアイデアをカタチにし、ROUND4では中間発表を行い、フィードバックを受けながら改善します。その後、個別オンラインメンタリングを経て、FINAL ROUNDでは佐藤の前で最終ピッチを行います。採択前提ではありません。本当に事業として取り組むべきかを厳正に判断して進めます。



リアルな若者の違和感から仕事をつくり、その仕事を一緒に動かしながら、企業と若者が仲間になっていく。『BREAKING WONDER』は、採用の前に仕事をつくる、新しい採用・事業開発のかたちです。

私は、リーマンショック、半導体不況、家族の病気、震災を経て、無一文から起業しました。

原点にあったのは、『福祉が善意頼みになっている社会はおかしい』という怒り。それを事業に変えて育ててきました。学歴も経歴も関係ありません。たった一つの『おかしい』という感情が始まりです。

私は、不満や怒り、違和感の中にこそ社会課題の本質があると思っています。社会を変えるのは、現状を当たり前だと受け入れる人ではなく、『何かおかしい』と感じ、その違和感から行動を起こす人です。

本当に必要だと判断できる課題解決事業には、単なる賞ではなく、実装に必要な予算と社員のリソースを本気で投じます。



今後のスケジュール

Round3以降、メディアの皆様取材いただけます

ステップ	日程	内容	目的・ポイント
 Round3 アイデアをカタチにする ワークショップ	2026年 6月20日（土） 14:00～16:00	メンターとともに、参加者の不満や違和感をビジネスプランへと具体化します。	アイデアをビジネスプランに具体化する
 Round4 中間発表	2026年 6月27日（土） 14:00～16:00	途中段階で一度発表し、フィードバックをもとにアイデアを改善します。	フィードバックを受けてアイデアをブラッシュアップ
 個別オンライン メンタリング	2026年 7月上旬予定	Final Roundに向けて、WSHと株式会社すみかが参加者に伴走します。	最終ピッチに向けて個別にサポート・伴走
 Final Round 最終ピッチ	2026年 7月18日（土） 14:00～16:00	佐藤社長の前でプレゼンテーションを実施。採択されたアイデアには予算をつけ、WSH社員とともにプロジェクトとして実行します。	最終プレゼンでアイデアを披露し、採択されたアイデアをプロジェクトとして実行

※参加者それぞれの取材可否は別途ご案内します

※関係者への個別インタビューなどご要望に応じて調整いたします

本件に関するお問い合わせ

ワンダーストレージホールディングス株式会社

広報担当：湯瀬（080-8385-1137）



◀HPはこちらから